



901

別記様式第35号（規格A4）（第4条関係）

医療法人決算届

令和 5年 6月16日

群馬県知事 あて

主たる事務所

所在地 群馬県桐生市新里町山上525番地1

名称 医療法人 英翠会

理事長 枝國 英夫

医療法第52条第1項及び医療法施行規則第33条の2の12第1項の規定により、医療法人の決算を次のとおり届け出ます。

添付書類

- 1 事業報告書
- 2 財産目録
- 3 貸借対照表
- 4 損益計算書
- 5 関係事業者との取引の状況に関する報告書
- 6 監事の監査報告書
- 7 決算を承認した社員総会（理事会）の議事録の写し

- 注 1）医療法第51条第2項の法人にあっては医療法第52条第1項第3号の書類及び医療法施行規則第33条第1項第3号の書類を、社会医療法人にあっては同項第1号の書類を、社会医療法人債発行法人にあっては同項第2号の書類を併せて提出すること。
- 2）この届出書には副本1部を添えること。



様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 4 年 5 月 1 日 至 令和 5 年 4 月 3 0 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人 英翠会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他
- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目(③は社団のみ。)について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

- (2) 事務所の所在地 群馬県桐生市新里町山上 525 番地 1

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

- (3) 設立認可年月日 平成 2 7 年 7 月 1 3 日

- (4) 設立登記年月日 平成 2 7 年 7 月 2 7 日

- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長		
理 事		
同		
同		
同		
同		
同		
監 事		
同		
評 議 員		
同		
同		

注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事(理事長を含む)の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院			
診療所	えだくに整形外科	群馬県桐生市新里町 山上 525 番地 1	一般病床 0 床 療養病床 0 床 [医療保険 0 床] [介護保険 0 床]
介護老人 保健施設			

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に括弧書き（例：【〇〇市（町、村）から指定管理者として指定を受けて管理】）で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。
4. 該当がない項目欄は削除すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

- 注) 附帯業務を実施している場合は、業務の種類（例：訪問看護ステーション〇〇、〇〇在宅介護支援センター等）及び実施場所を記載すること。

また、地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に括弧書き（例：【〇〇市（町、村）から委託を受けて管理】）で記載すること。該当がない項目欄は削除すること。

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

注）実施している場合は、業務の種類（例：駐車場業、料理品小売業等）及び実施場所を記載すること。

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 4 年 6 月 1 0 日 令和 3 年度決算の決定

様式2

※医療法人整理番号

法 人 名	医療法人 英翠会
所 在 地	群馬県桐生市新里町山上525番地1

財 産 目 録
(令和 5年 4月30日現在)

1. 資 産 額	170,849 千円
2. 負 債 額	23,677 千円
3. 純 資 産 額	147,172 千円

(内 訳) (単位:千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	151,915
B 固 定 資 産	18,934
C 資 産 合 計 (A+B)	170,849
D 負 債 合 計	23,677
E 純 資 産 (C-D)	147,172

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法 人 名 医療法人 英翠会

所 在 地 群馬県桐生市新里町山上525番地1

貸 借 対 照 表

(令和 5年 4月30日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	151,915	I 流動負債	23,677
II 固定資産	18,934	II 固定負債	
1 有形固定資産	18,896	(うち医療機関債)	
2 無形固定資産	33	負 債 合 計	23,677
3 その他の資産	5	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)		科 目	金 額
		I 資本剰余金	
		II 利益剰余金	132,172
		1 代 替 基 金	
		2 その他利益剰余金	132,172
		III 評価・換算差額等	
		IV 基 金	15,000
		純 資 産 合 計	147,172
資 産 合 計	170,849	負債・純資産合計	170,849

法 人 名	医療法人 英翠会
所 在 地	群馬県桐生市新里町山上525番地1

損 益 計 算 書

(自 令和 4年 5月 1日 至 令和 5年 4月30日)

(単位:千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	187,939
2 事業費用	168,397
本来業務事業利益	19,542
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業利益	19,542
II 事業外収益	1,346
III 事業外費用	
経常利益	20,888
IV 特別利益	2,999
V 特別損失	
税引前当期純利益	23,887
法人税等	5,929
当期純利益	17,958

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

法人名 医療法人 英翠会
所在地 群馬県桐生市新里町山1-525番地1

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	枝國 英夫	医師	当法人理事長	貸借料の支払い (注 1)	2,712	地代家賃	0

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注 1) 固定資産税課税評価標準等から算定

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 英翠会

理事長 枝國 英夫 殿

私（注 1）は、医療法人英翠会の令和 4 会計年度（令和 4 年 5 月 1 日から令和 5 年 4 月 30 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注 2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 5 年 6 月 10 日

（注 1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注 2）社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。